

日本工学アカデミー 第6回 政治家と科学者の対話の会



話題を提供する小林議員[㊤]と新妻議員

公益社団法人日本工学アカデミーは1月25日、都内の衆議院第二議員会館で「第6回政治家と科学者の対話の会」を開催した。同アカデミーではこれまで、政策

提言の作成に向け、会員と国会議員との間で自由な意見交換を行ってきた。今回初の試みとして、まず議員から話題提供を受け、その後意見交換を行った。

話題提供を行ったのは新妻秀規参院議員（公明）と小林鷹之衆院議員（自民）。新妻氏は「民間企業への研究開発支援制度の課題」「他国の制度との比較」と題して講演し、民間研究開発への日本政府直接出資は「他の主要国と比べて明らかに劣りする」などと指摘した。また、昨年8月まで経済安全保障担当大臣を務めた小林氏は「経済安全保障の狙いというのは、規制そのものにあるのではなく経済成長の強化・持続化にある」と説明。そして、「経済と安全保障を支えているのが科学技術・イノベーションだ」とし、アカデミアに対して連携協力を呼びかけた。

「対話の会」には新妻氏、小林氏のほかに、伊佐進一衆院議員（公明）、大串正樹衆院議員（自民）、大野敬太郎衆院議員（自民）、川崎秀人衆院議員（自民）が出席した。